

第16期定時株主総会

2025年3月21日



株式会社ブロードリーフ

議決権数報告

監查報告

監査役会の監査結果

監査報告書

当監査役会は、2024年1月1日から2024年12月31日までの第16期事業年度における取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施いたしました。
 - ①取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
 - ②事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
 - ③会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、連結計算書類（連結財政状態計算書、連結損益計算書、連結持分変動計算書及び連結注記表）並びに計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告等の監査結果
 - ①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
 - ②取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
 - ③内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。
- (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果
会計監査人 有限責任 あずさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。
- (3) 連結計算書類の監査結果
会計監査人 有限責任 あずさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2025年2月12日

株式会社ブロードリーフ監査役会

常勤監査役 平澤 謙二 ㊟

社外監査役 西本 強 ㊟

社外監査役 永井 美保子 ㊟

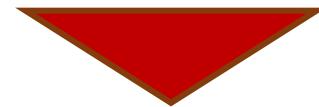
報告事項

報告事項

- 1 事業の経過及びその成果
- 2 連結計算書類
- 3 計算書類

日本経済

- 景気は緩やかな回復基調
- エネルギー価格の高騰
- 為替変動
- 中東情勢の影響



不確実性の高い状況が継続

IT投資動向

- 業務改革
- 生成AIを利用した新たなデジタルサービスの創出



DXへの取り組みが活発

当社グループのお客様

- 働き方改革・人手不足への対応
- サプライチェーンの再構築・デジタル行政への対応



幅広い領域でIT投資が積極化

中期経営計画 成長戦略

クラウドの浸透

サービスの拡張

- クラウドソフト『.cシリーズ』への切り替えを計画的に実施
- 新たなお客様の獲得に注力
- クラウドソフトのメニュー拡充・性能向上
- プラットフォーム型サービスの研究開発を推進

当社グループの取り組み

- パッケージソフトからクラウドソフトへの切り替えが進展
- 新たなお客様の獲得も順調に推移

クラウドサービス売上

前事業年度比

48.6%増



当社グループの取り組み

- モビリティ産業のお客様
 - ▶ クラウドソフトへの切り替えが順調に進展
- 非モビリティ産業向けパッケージソフトの大口案件獲得

パッケージシステム売上

前事業年度比

1.1%増



当社グループの取り組み

- クラウドソフトへの切り替え
 - ▶ サービス区分別売上の構成比に変化
 - ▶ 全体売上にとって増加要因



クラウドソフトへの移行が完了する
2028年まで継続する見込み

当社グループの取り組み

ー コスト面 ー

- クラウドソフトの機能拡張・性能向上への開発を積極化
- 業務プロセスの効率化を推進
- 営業活動・管理業務のコスト最適化を推進

販売費及び一般管理費

前事業年度比

1億12百万円減



事業の経過及びその成果



売上収益

180億45百万円



前事業年度比 26億60百万円増加

営業利益

6億74百万円



前事業年度比 25億76百万円増加

税引前利益

5億45百万円



前事業年度比 24億66百万円増加

親会社の所有者に
帰属する当期利益

3億43百万円



前事業年度比 18億30百万円増加

前事業年度比で黒字転換

当社グループの現況に関する その他の事項

当社ウェブサイトに掲載

- Ⅱ. 会社の株式に関する事項
- Ⅲ. 会社の新株予約権等に関する事項
- Ⅳ. 会社役員に関する事項
- Ⅴ. 会計監査人の状況
- Ⅵ. 企業集団の業務の適正を確保するための体制
- Ⅶ. 企業集団の業務の適正を確保するための体制の
運用状況の概要
- Ⅷ. 剰余金の配当等の決定に関する方針

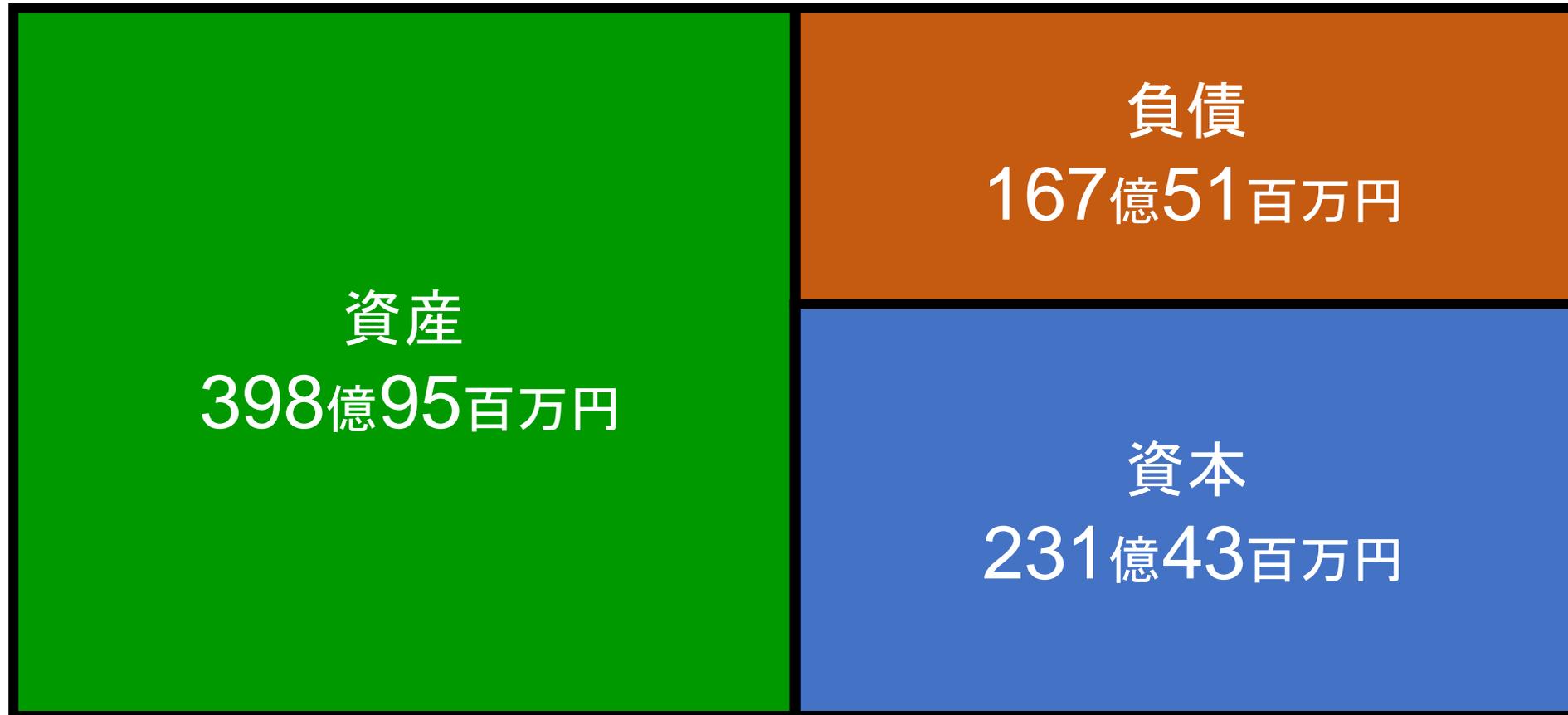
当社ウェブサイトに掲載

報告事項

- 1 事業の経過及びその成果
- 2 連結計算書類
- 3 計算書類

連結財政状態計算書

当社ウェブサイトに掲載



(注)記載金額は、表示単位未満の端数を四捨五入して表示しております。

連結損益計算書
連結持分変動計算書
連結注記表

当社ウェブサイトに掲載

報告事項

- 1 事業の経過及びその成果
- 2 連結計算書類
- 3 計算書類

貸借対照表
損益計算書
株主資本等変動計算書
個別注記表

当社ウェブサイトに掲載

連結計算書類に係る会計監査報告
計算書類に係る会計監査報告
監査役会の監査報告

当社ウェブサイトに掲載

当社事業の状況

ご参考情報の一部訂正について

今年2月の決算説明会でのご説明の通り、2024年度の第1～第3四半期末にご参考情報として掲載しておりました当社お客様の内訳データの一部に、集計プログラムのミスによる誤りがございました。

訂正箇所につきましては次ページに記載しておりますが、**決算をはじめ、財務情報及び経営管理上で使用している情報は正確であり、経営判断も適切に行われております。そのため、経営や会計面への影響は一切ございませんので、どうぞご安心ください。**

今後このようなことがないよう、十分に留意してまいります。

2024年度 ご参考情報の一部訂正について

■訂正は下線の箇所になります

【ソフトウェアのユーザー数】

決算期 (単位：社)	2024年12月期 第1四半期末		2024年12月期 第2四半期末		2024年12月期 第3四半期末	
	訂正前	訂正後	訂正前	訂正後	訂正前	訂正後
クラウドソフト標準版	5,871	5,871	6,837	6,837	7,623	7,623
既存	3,326	<u>3,389</u>	3,749	<u>4,128</u>	4,022	<u>4,740</u>
新規	2,545	<u>2,482</u>	3,088	<u>2,709</u>	3,601	<u>2,883</u>

【クラウドソフトに関する指標】 (ライセンス数)

決算期 (単位：ライセンス)	2024年12月期 第1四半期末		2024年12月期 第2四半期末		2024年12月期 第3四半期末	
	訂正前	訂正後	訂正前	訂正後	訂正前	訂正後
クラウドソフト標準版	7,934	7,934	9,310	9,310	10,644	10,644
既存	4,807	<u>4,968</u>	5,483	<u>6,062</u>	5,989	<u>7,145</u>
新規	3,127	<u>2,966</u>	3,827	<u>3,248</u>	4,655	<u>3,499</u>

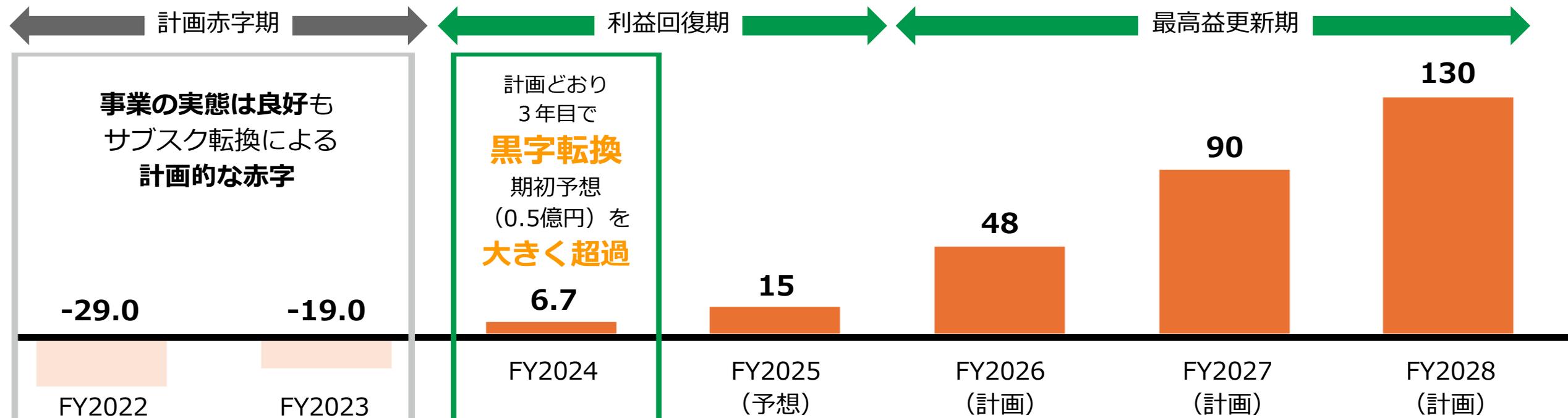
【クラウドソフトに関する指標】 (ライセンス平均月額売上)

決算期 (単位：円 / 月)	2024年12月期 第1四半期末		2024年12月期 第2四半期末		2024年12月期 第3四半期末	
	訂正前	訂正後	訂正前	訂正後	訂正前	訂正後
クラウドソフト標準版	22,853	22,853	23,051	23,051	23,375	23,375
既存	25,598	<u>25,804</u>	25,580	<u>25,817</u>	25,970	<u>25,986</u>
新規	18,632	<u>17,909</u>	19,429	<u>17,890</u>	20,036	<u>18,043</u>

事業状況のサマリー

- 2022年、主力商品である業務ソフトの全面刷新に合わせ、売上モデルをサブスク型に転換
- お客様のクラウド移行完了時期を2028年末に設定し、中期経営計画（2022-2028）を策定
- お客様のクラウド移行進展に伴い、3年目の2024年に営業黒字に転換
- 計画最終年度に向け順調に進捗中

営業利益の実績と計画（億円）



中期経営計画の進捗状況（成長戦略）

- 売上と営業利益は計画を上回って進捗中
- 中期経営計画の実現に向けた成長戦略についても計画通りに進捗

成長戦略	進捗状況								
<p data-bbox="230 807 633 858">クラウド化の促進</p>	<ul style="list-style-type: none">● 主力なお客様向けに計画していたクラウドサービスが出揃う● クラウドソフト導入社数9,051社、クラウド化率24% － お客様数が順調に増加● 顧客維持率99.7% － お客様数を高く維持  <table border="1"><thead><tr><th>年次</th><th>社数</th></tr></thead><tbody><tr><td>(2022年末)</td><td>2,231社</td></tr><tr><td>(2023年末)</td><td>5,381社</td></tr><tr><td>(2024年末)</td><td>9,051社</td></tr></tbody></table> <p data-bbox="1887 945 2085 982">+ 3,150社</p> <p data-bbox="2154 945 2351 982">+ 3,670社</p>	年次	社数	(2022年末)	2,231社	(2023年末)	5,381社	(2024年末)	9,051社
年次	社数								
(2022年末)	2,231社								
(2023年末)	5,381社								
(2024年末)	9,051社								
<p data-bbox="175 1124 680 1245">お客様一人あたりから得られる収益向上</p>	<ul style="list-style-type: none">● ライセンス平均月額売上（単価） － 前年比109%で計画を上回って順調に進捗								
<p data-bbox="268 1306 576 1357">コスト効率化</p>	<ul style="list-style-type: none">● 販売管理費等について計画を上回るコストの効率化を実現								

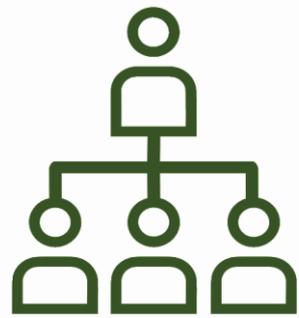
中期経営計画の進捗状況（社内における取組み）

■以下の取組みにより、収益性のさらなる向上を目指す

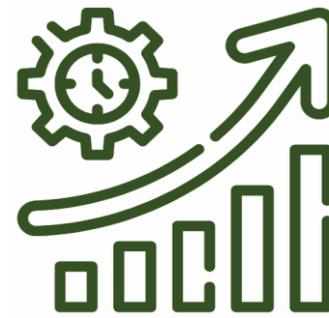
生成AIの活用によって
業務の生産性が
飛躍的に向上



組織をフラット化し
事業遂行の加速と
成果の最大化を追求



徹底的な無駄の排除に
よるコストの効率化



SDGsへの
積極的な取組み



『Grow Leaf プロジェクト』を
中心とした環境保全活動を実施し
品川区主催 令和6年度環境保全活動顕彰の
最高位である「企業大賞」を受賞

株主の皆様への利益還元

- 中期経営計画の進捗や内部留保の状況、資本効率の向上策などを総合的に考慮し、株主の皆様へ最大限の利益還元ができるよう検討を進めてまいります

一株当たり配当金

(円)	FY2025 (予想)	FY2024 (期末は予定)
中間配当	2.50円	0.00円
期末配当	2.50円	2.00円
年間配当	5.00円	2.00円
連結配当性向	44.9%	51.9%

当社事業領域と 市場環境および動向

事業概要

- 当社のお客様は約90%がモビリティ産業、約10%が非モビリティ産業

お客様数 約4万社		
領域	モビリティ 約90%	非モビリティ 約10%
業種	<p>整備業</p> <p>部品商</p> <p>钣金業</p> <p>ガラス商</p>	<p>中古車販売業</p> <p>電装/ラジエーター業</p> <p>旅行業</p> <p>バス運行業</p> <p>機械工具業</p> <p>携帯電話ショップ</p> <p>OTRS</p>
提供形態	クラウドサービス提供	従来型のソフトウェア提供 (パソコンインストール型)

事業概要

- 非モビリティ産業では携帯電話ショップや製造業向けにソフトウェアを提供

		お客様数 約4万社			
領域	モビリティ 約90%			非モビリティ 約10%	
業種	整備業	部品商	中古車販売業	携帯電話ショップ	
			電装/ラジエーター業		
			旅行業		
	钣金業	ガラス商	バス運行業	OTRS	
			機械工具業		
提供形態	クラウドサービス提供			従来型のソフトウェア提供 (パソコンインストール型)	

事業概要

- 当社の主力であるモビリティ産業は、クラウド（SaaS）によるサービスを中心に提供
- 今後、中古車販売業等の一部サービスを従来型ソフトウェアからクラウド化予定

お客様数 約4万社

領域

モビリティ 約90%

非モビリティ 約10%

業種

整備業

部品商

中古車販売業

電装/ラジエーター業

携帯電話ショップ

旅行業

钣金業

ガラス商

バス運行業

OTRS

機械工具業

提供形態

クラウドサービス提供

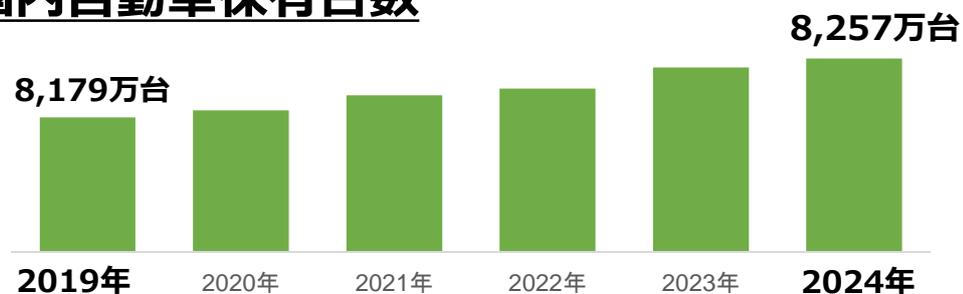
従来型のソフトウェア提供
(パソコンインストール型)

モビリティ産業の市場状況と動向

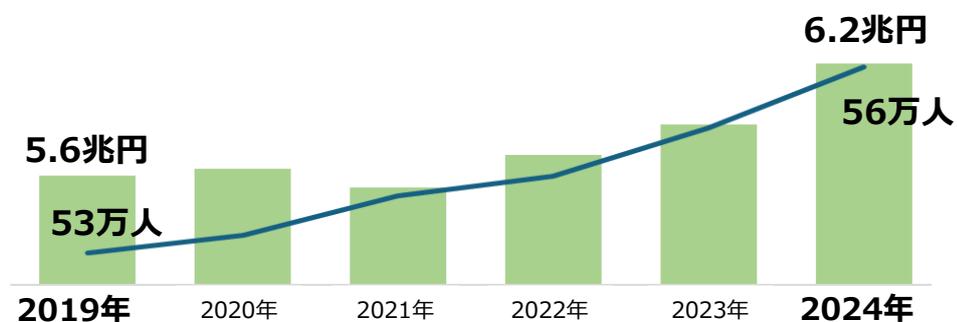
- 市場は堅調に推移
- 自動車の高度化が進んでいる現状は、当社の収益増加が見込める好機

モビリティ産業の市場状況

国内自動車保有台数



自動車総整備売上高・整備関係従業員数



出所：自動車検査登録情報協会・日本自動車整備振興会連合会

モビリティ産業の動向

整備需要は増加

自動車の高度化により事故修理減少もセンシング装置等の整備は必須

メインのお客様である大手工場への統合が加速

高度な整備に対応するために設備・人材投資が可能な大手工場に集約

DX化の要望が増加

投資回収に繋がるサービスへの需要が向上

行政のデジタル化や法改正により電子化対応が必須

高性能かつ経営支援が可能な
当社のクラウドサービスへの需要が向上

中期経営計画の実現確度

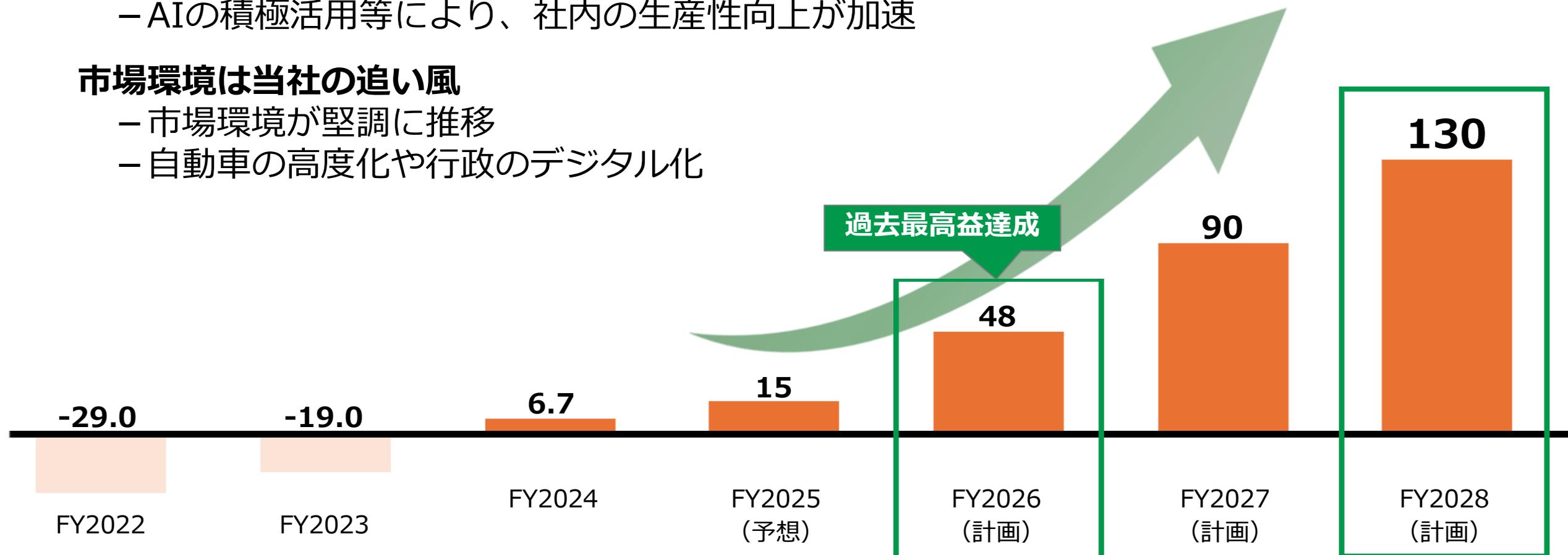
- 中期経営計画で目標としている26年過去最高益と28年営業利益130億の実現確度は高い

現在までの進捗は良好

- 成長戦略が順調
- AIの積極活用等により、社内の生産性向上が加速

市場環境は当社の追い風

- 市場環境が堅調に推移
- 自動車の高度化や行政のデジタル化



更なる成長に向けた 時代の変化を見据えた当社の方針

時代の変化を見据えた当社の方針

■ 2DXを当社の方針と定め推進中

技術革新による時代の変化

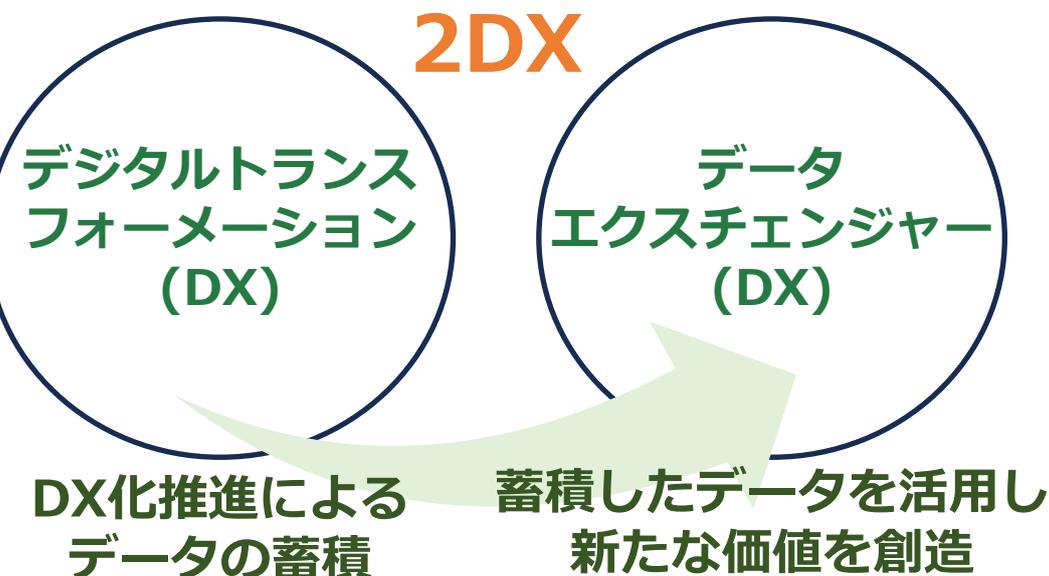
生成AIをはじめとした技術革新が加速し、AI活用がビジネスの成否を決める鍵になる

時代の変化に勝ち抜くために

AI時代で優位に立つには、世間一般に出回っていない膨大な独自データが鍵になる

時代の変化を見据えた当社の方針

当社は膨大な自動車関連の独自データを蓄積
蓄積したデータを活用し2DXを推進



2DXを実行するための当社の強み

■ 2DXを実行するための当社の強みは以下の通り



**膨大なデータ蓄積が可能な
独自プラットフォーム**

独自の開発基盤であるBroadleaf Cloud Platform（BCP）に、
様々なサービスを通じた膨大なデータが蓄積される



**膨大な自動車関連データと
データ管理ノウハウ+AI**

BCPに蓄積された膨大な自動車関連と個人のデータを、データ管理のノウハウ
とAIを活用して連携。モビリティを軸にしたライフスタイル全般へ展開が可能



**メンテナンスのデータと
全国規模のお客様基盤**

当社の培ったメンテナンスに関わるデータと全国に渡るお客様基盤を活用し、
新モビリティの領域への多角化が可能

取組み事例（膨大な自動車関連データとデータ管理ノウハウ+AI）

- カーオーナーが安心して自動車のメンテナンスを事業者に依頼できる環境を提供

業界の不正事案が発生

自動車の修理等の見積価格の不正や、保険会社への水増し請求等、
カーオーナーの信頼を損なう事案が発生

カーオーナーの困りごと

車検や点検、修理の時、提示された見積価格が適正なのかわからず不安

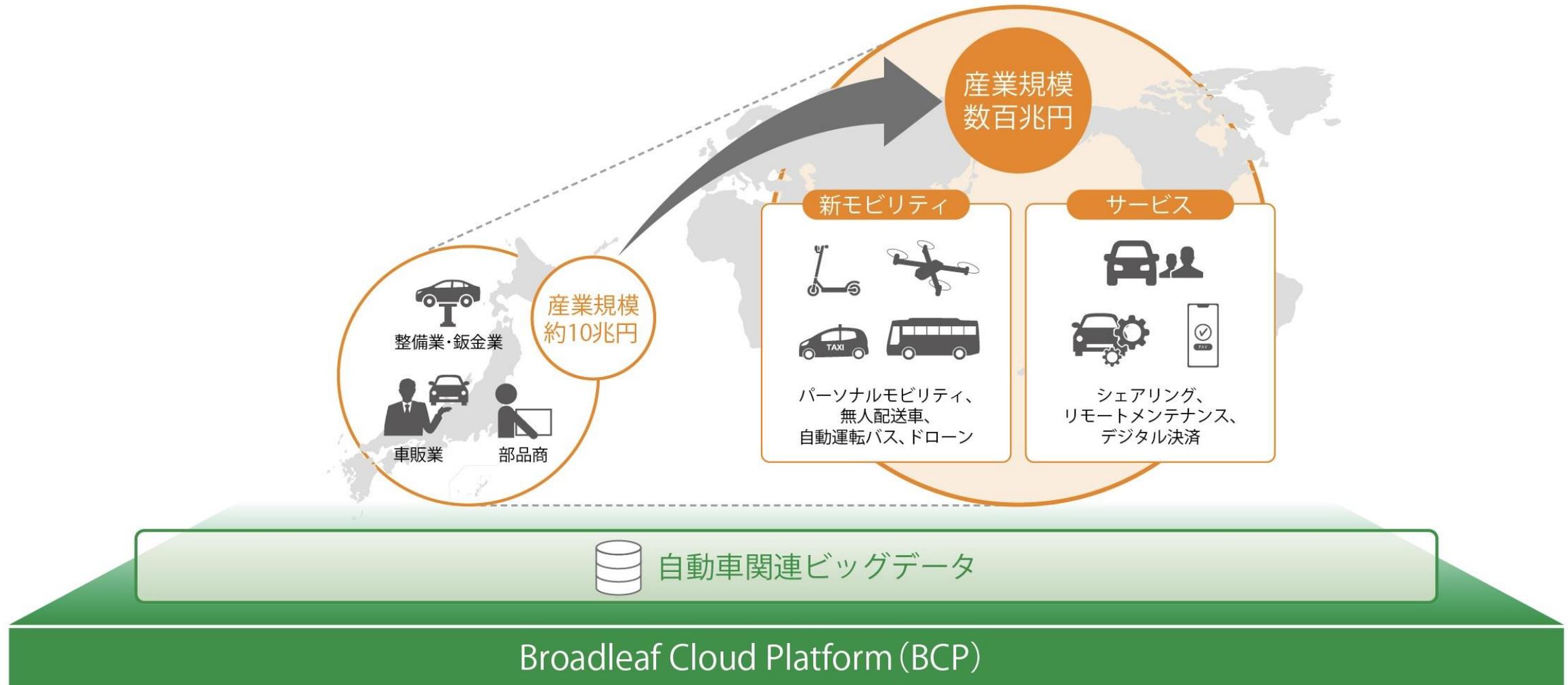
当社が応えられること

車両整備・钣金・中古車販売等の事業者に対する信頼を取り戻し、
カーオーナーの安心・安全なカーライフの回復

→様々な業務における異常や不正の検知を高い精度で検出可能なサービス

ブロードリーフ経済圏の拡大

■ 2DXを通じてモビリティ関連事業者全体へとサービスを拡大



株主の皆様へ

当社はクラウドへの転換による安定した成長を基盤に、
さらなる飛躍を目指してまいります

株主の皆様とともに、持続的な成長と価値創造を実現することが
当社の使命であると考えております

今後とも変わらぬご支援を賜りますよう
心よりお願い申し上げます

決議事項

第1号議案

剰余金処分の件

- 期末配当 1株につき2.0円（年間配当金 2.0円）
- 総額 183,475,406円
- 効力発生日 2025年3月24日

第2号議案

取締役5名選任の件

番号	氏名	番号	氏名
1	おおやま けんじ 大山 堅司	4	たかだ ひろし 高田 坦史 社外
2	やまなか けんいち 山中 健一	5	やまぐち うねみ 山口 畝誉 社外 女性
3	きざわ もりお 鬼澤 盛夫 社外		

招集ご通知 9～13ページ

第3号議案

補欠監査役2名選任の件

番号	氏名	
1	やまぐち 山口	じゅんいち 順一
2	あさくら 朝倉	ゆうすけ 祐介

社外

招集ご通知 16～17ページ

第16期定時株主総会



株式会社ブロードリーフ

質疑応答

ご発言の際は
入場票番号のみを
お願いいたします

採 決

第1号議案

剰余金処分の件

第2号議案

取締役5名選任の件

第3号議案

補欠監査役2名選任の件

第16期定時株主総会



株式会社ブロードリーフ

經營陣紹介

本日はご多用のところ
ご出席いただきまして
誠にありがとうございました。



株式会社ブロードリーフ